

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 實用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報 (U)

昭55—181082

⑫ Int. Cl.³
F 16 L 19/08識別記号
6333—3H

⑬ 公開 昭和55年(1980)12月26日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

④ くい込み式管継手

⑤ 実願 昭54—81248

⑥ 出願 昭54(1979)6月14日

⑦ 考案者 許斐不二俊
東京都千代田区内幸町1—1—
6 東京芝浦電気株式会社東京事務所内

⑧ 考案者 大野道典

東京都千代田区内幸町1の1の
6 東京芝浦電気株式会社東京事務所内⑨ 出願人 東京芝浦電気株式会社
川崎市幸区堀川町72番地

⑩ 代理人 弁理士 猪股清 外3名

⑪ 実用新案登録請求の範囲

両端部外周にねじを刻設され被接続管端を挿入する貫孔の両端面に外方へ広拡するテーパ面を備えた継手本体と、上記ねじに螺合するユニオンナットと、管上に被嵌されユニオンナットテーパ付尾端に押されて、両テーパ面に圧接されるようになした環状のくい込みスリーブとよりなり、上記継手本体のテーパ面およびその周辺部と、くい込みスリーブの外周面とにそれぞれゴムライニングなどの絶縁被膜を施したこととするくい込み

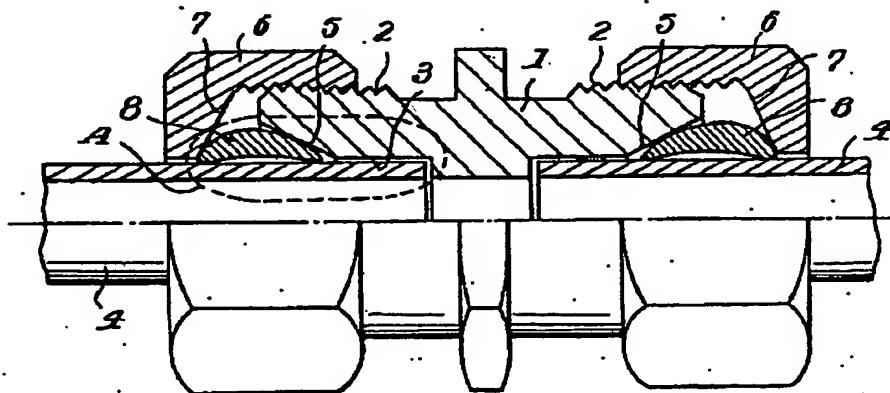
式継手。

図面の簡単な説明

第1図は、くい込み式管継手の一般的構成を示す総断側面図、第2図は本考案くい込み式管継手の要部を示す第1図A部の拡大した断面図である。

1……継手本体、2……ねじ、3……貫孔、
4……被接続管、5……テーパ、6……ユニオンナット、7……テーパ、8……くい込みスリーブ、
9……内部流体、10……絶縁被膜。

第1図



第2回

